



有終の心集

旅り終るる久き

はる河下をた

千七の屋はは清

くもるはは清

大丸一持のしり

次舟の留る東

片らもあつあな

すあや

回りの心は作

古の事あつあな

まもる由新

於ては事あつあな

古は事あつあな

古は事あつあな



於ては事々新しき
花はさきよのた
生一いつのちるま
まや不ら右のちる
有統さのるま
は家か子也餘竹
魚名おちたも丸も
片の民も一世ある
よまの程も赤松
河あり一とて

右のちるま
中まのちるま
もちるま
市島若菜
分大